

事業所名:みらいずジュニア

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	0%	安全に活動できるよう用具の位置など職員間で共有して対応している。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%	0%	0%	使ったおもちゃなどどこにしまったらいいかが目で見てわかるように工夫している。(写真を使うなど) 玄関の階段に手すりやスロープがありバリアフリー化している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%	0%	0%	業務前汚れているところがあれば掃除機をかけ清潔を保っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	円滑なPDCAサイクルを行えるよう、朝のミーティングと支援後の振り返りの時間を確保している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	保護者様からいただいたご意見を真剣に受け止めて職員間でも話し合っている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0%	0%	100%	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	空いている時間をみつけ、模擬授業を行い、資質の向上に繋がれるようにしている。模擬授業で対応の仕方や工夫するところをスタッフ間で意見を出し合っている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	0%	年齢による個人差も大きいので、一人一人の特性だけでなく発達段階をより考慮しながら、ニーズに合った計画作成を行っている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	0%	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%	0%	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	0%	実際の活動の様子を見て、一人一人のレベル感や活動の難易度を確認し、改善すべき点等スタッフに提示しながら、より良い支援を提供できるようにしている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	その子に合った支援内容かどうかを指導員間で話し合い、統一するよう心がけている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	0%	

関係機関や保護者との連携	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	始業前のミーティングでその日役割、支援する内容を確認している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	0%	振り返りの際に、出来事や上手くいかなかったことを、共有し、改善につながるように話し合っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%	0%	0%	
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	67%	33%	0%	
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	0%	
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%	0%	0%	療育センターで検査した内容や助言いただいたことについて保護者から情報提供いただいている。保育所訪問や学校訪問を行い、保育園や学校での様子を確認し、スタッフ間で共有している。
26	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	17%	17%	67%		
27	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	83%	17%	0%		
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	園への送迎が多く保護者に直接伝える機会が少ない児童の場合は、連絡帳やLINE等のツールをうまく活用しながら、連携を図っている。緊急の場合はすぐに電話をする等、使い分けている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	50%	50%	0%		

保護者への説明責任等	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	運営規定や個人情報の取り扱い等については、契約の時点で保護者に説明をさせていただいている。 問い合わせなどあればその都度説明するなど、対応している。
	31	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	0%	0%	
	32	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	保護者の困り感や悩みを、理解しながら支援に繋げられるようにスタッフ間で共有し、支援している。 また、その内容を送迎時などで伝えている。
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%	0%	0%	
	34	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	
	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	50%	50%	0%	
	36	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%	0%	0%	
	37	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	
非常時等の対応	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	17%	17%	67%	
	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%	0%	0%	
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	
	41	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%	0%	0%	病院受診後の内服薬等やてんかんなど症状の注意事項があれば、保護者を通じて情報提供いただき、子供の様子を確認しながら支援をしている。 必要な際は、静養室で、休ませたり保護者へ連絡したりしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	0%	アレルギーや服薬の有無については、見学时・契約時に確認を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	50%	33%	17%	
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	虐待防止のための研修を行なっている。
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100%	0%	0%	虐待防止の取り組みについてもご契約時に説明している。 その後状況によっては保護者に説明し、支援計画にも明確に記載している。